



# 山口大学応用分子生命科学常盤台コロキアム

## *Tokiwada Colloquium in Yamaguchi University*

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキアムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第 39 回 2013 年 3 月 7 日（木）午後 4 時 10 分より

D22 講義室

九州大学大学院 理学研究院 助教

上野 聡先生

### 「飽和カルボニル化合物の触媒的 direct 脱水素化反応の新展開」

薬理活性物質を短段階で合成するには、当然ながら少ない反応数となるように合成戦略を立てます。これまでは炭素-ハロゲン結合を持つ有機ハロゲン化物を用いると、金属触媒により様々な官能基の存在下であっても変換反応を行うことができることから、最も効率の良い出発物質の一つでした。しかし、有機ハロゲン化物の原料である炭化水素の C-H 結合を直接的に変化できれば、より短い段階で目的物を合成することが可能です。上野先生は、様々な C-H 化合物の中でも特に変換が難しい飽和カルボニル化合物の direct 脱水素化を利用する触媒的 C-H 官能基化に成功されており、本講演では、「触媒的に direct 脱水素化できない」とされていた飽和カルボニル化合物をどのように変換可能にされたのか、その方法論や発見の経緯そして今後の展開についてご説明していただきます。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

理工学研究科物質化学専攻 西形孝司（9261）

